

青森県景気動向指数

平成14年3月分

先行指数	44.4%	(18か月連続50%を下回った)
一致指数	33.3%	(2か月ぶりに50%を下回った)
遅行指数	14.3%	(5か月連続50%を下回った)

平成14年6月

青森県企画振興部統計情報課

1. 平成14年3月分結果概要

先行指数	44.4%	(18か月連続50%を下回った)
一致指数	33.3%	(2か月ぶりに50%を下回った)
遅行指数	14.3%	(5か月連続50%を下回った)

3月の一致指数は、有効求人数（常用）、鉱工業生産指数、大型小売店販売額（実質）、海上出入貨物量（八戸港）、東北自動車道IC利用台数、大口電力使用量がマイナスとなったことから、50%を下回った。

2. 個別系列の動き

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列			
生産財生産指数	2か月連続	新規求人数（常用）	15か月連続
建築着工床面積（鉱+商+サ）	2か月連続	入職率（製造業）	5か月連続
中小企業景況DI	14か月ぶり	所定外労働時間指数（全産業）	2か月連続
企業倒産負債額	2か月ぶり	乗用車新車登録届出台数	4か月ぶり
		新設住宅着工戸数	2か月ぶり
一致系列			
電気機械生産指数	2か月連続	有効求人数（常用）	15か月連続
日銀券月中発行高	2か月連続	鉱工業生産指数	8か月連続
雇用保険基本手当初回受給者数	6か月ぶり	大型小売店販売額（実質）	2か月連続
		海上出入貨物量（八戸港）	3ヶ月ぶり
		東北自動車道IC利用台数	3か月ぶり
		大口電力使用量	2か月ぶり
遅行系列			
1人平均月間現金給与総額	6か月連続	常用雇用指数（製造業）	16か月連続
		信用保証申込金額	6か月連続
		勤労者世帯家計消費支出（実質）	5か月連続
		消費者物価指数（帰属家賃除く総合）	4か月連続
		輸入通関実績（八戸港）	2か月連続
		単位労働コスト（製造業）	2か月連続

3 . 変化方向表

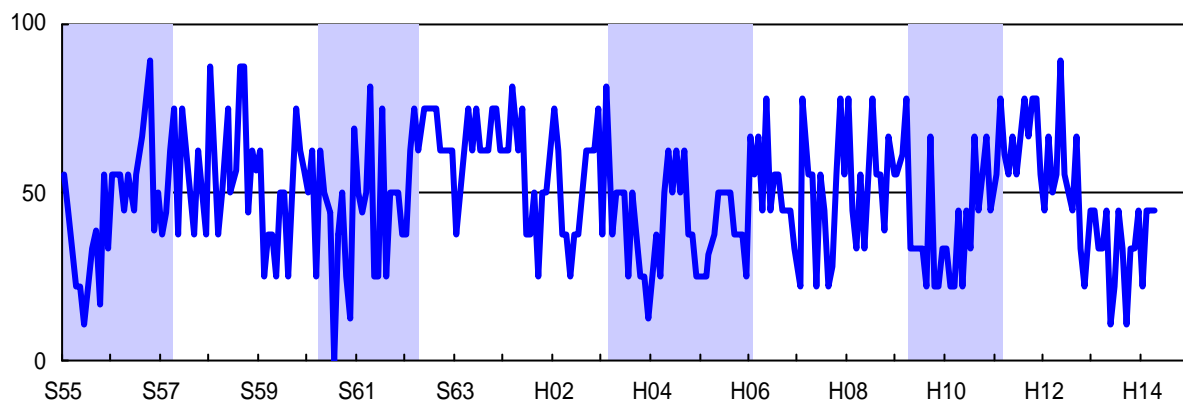
系 列 名	13年					14年							
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
先 行 系 列													
1. 乗用車新車登録届出台数	+	+	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-
2. 生産財生産指数	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	-	+	+
3. 新規求人数（常用）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4. 所定外労働時間指数	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	-
5. 入職率（製造業）	-	+	-	+	-	-	+	+	-	-	-	-	-
6. 新設住宅着工戸数	+	-	-	-	+	+	-	+	-	-	-	+	-
7. 建築着工床面積（鉱+商+サ）	+	-	-	-	+	-	-	-	+	+	-	+	+
8. 企業倒産負債額	-	+	+	-	-	-	-	-	+	+	-	-	+
9. 中小企業景況DI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+
先 行 指 数	33.3	44.4	11.1	22.2	44.4	33.3	11.1	33.3	33.3	44.4	22.2	44.4	44.4
一 致 系 列													
1. 大型小売店販売額	-	-	+	-	+	-	-	-	-	-	+	-	-
2. 鉱工業生産指数	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-
3. 電気機械生産指数	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	+	+	-
4. 大口電力使用量	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-
5. 有効求人数（常用）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6. 雇用保険基本手当当初回受給者数	+	+	+	+	-	+	+	-	-	-	-	-	+
7. 海上出入貨物量（八戸港）	-	+	-	-	-	-	-	+	+	-	+	+	-
8. 東北自動車道IC利用台数	-	+	-	-	-	-	-	+	+	-	+	+	-
9. 日銀券月中発行高	-	+	+	+	-	+	-	-	-	+	-	+	+
一 致 指 数	11.1	44.4	33.3	22.2	22.2	22.2	22.2	33.3	33.3	33.3	33.3	55.6	33.3
遅 行 系 列													
1. 勤労者世帯家計消費支出	+	+	+	+	+	-	-	+	-	-	-	-	-
2. 常用雇用指数（製造業）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3. 1人平均月間現金給与総額	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
4. 単位労働コスト（製造業）	+	+	+	+	-	+	+	-	-	+	+	-	-
5. 信用保証申込金額	-	-	+	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-
6. 輸入通関実績（八戸港）	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	-
7. 消費者物価指数（帰属家賃除く）	+	0	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-
遅 行 指 数	71.4	64.3	57.1	28.6	14.3	28.6	42.9	57.1	42.9	42.9	42.9	14.3	14.3

5か月前と比べて改善した指標をプラス（+）、悪化した指標をマイナス（-）としています。
先行、一致、遅行のDIは、それぞれの系列数のうち、プラスの指標が占める割合をあらわしています。

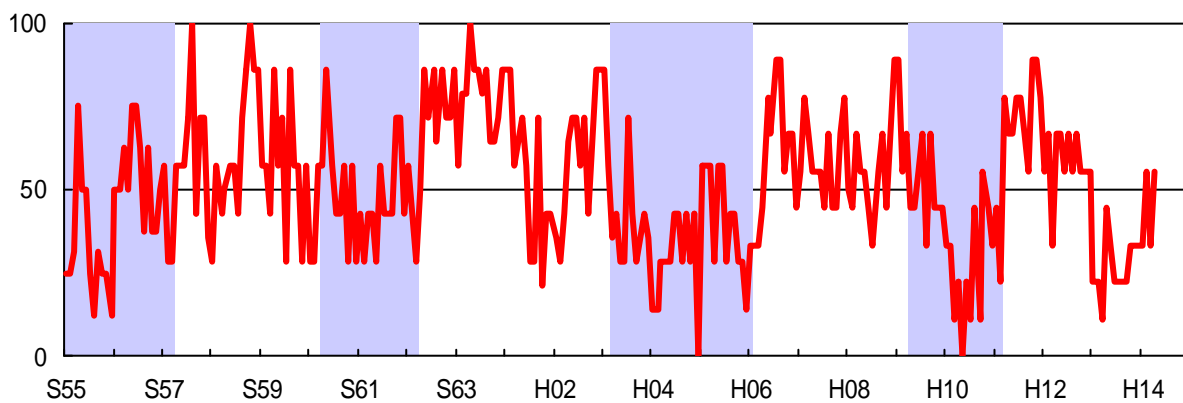
4. グラフ

(1) 各指数のグラフ

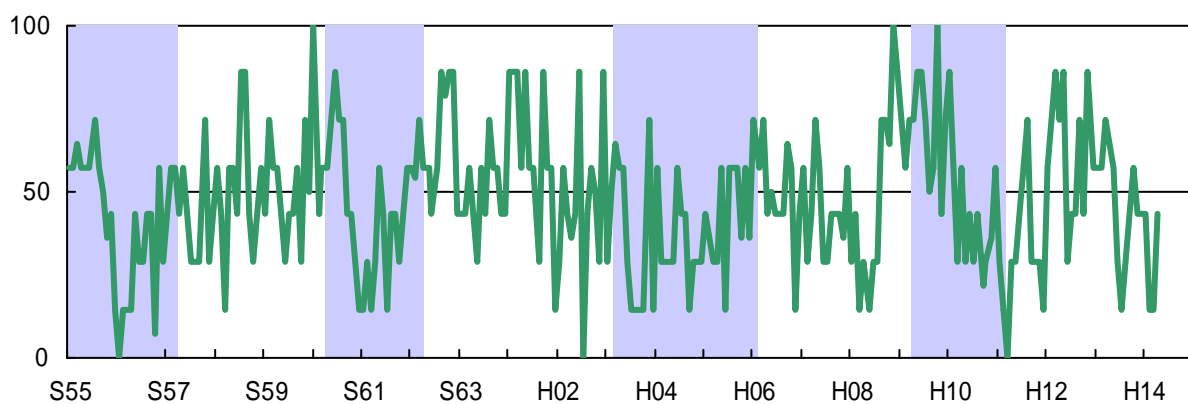
先行指数



一致指数

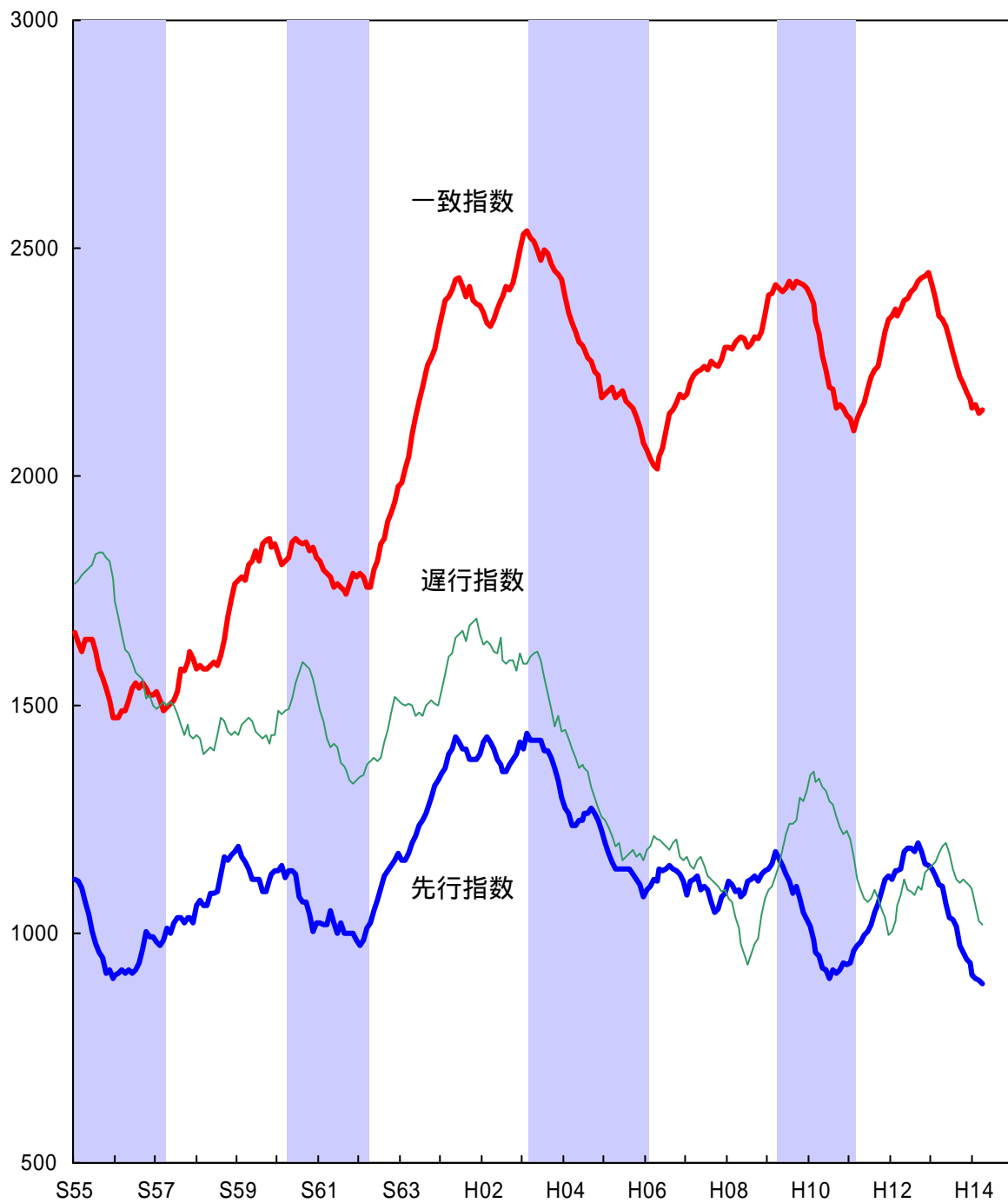


遅行指数



色付き期間は本県景気の後退局面です。

(2) 累積D I のグラフ



累積D I = 先月までの累積D I + 今月のD I - 50 (昭和35年6月を0としています)

月々のD I から50を引き、累積したものですから、D I が50%を上回れば上昇し、50%を下回れば下降します。

グラフにすると、景気の基調的な動きが視覚的にわかりやすくなります。

5 . 時系列表

先行指数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
S63	37.5	50.0	62.5	75.0	62.5	75.0	62.5	62.5	62.5	75.0	75.0	62.5
H01	62.5	62.5	81.3	62.5	75.0	37.5	37.5	50.0	25.0	50.0	50.0	62.5
H02	75.0	62.5	37.5	37.5	25.0	37.5	37.5	50.0	62.5	62.5	62.5	75.0
H03	37.5	81.3	37.5	50.0	50.0	50.0	25.0	50.0	37.5	25.0	25.0	12.5
H04	25.0	37.5	25.0	50.0	62.5	50.0	62.5	50.0	62.5	37.5	37.5	25.0
H05	25.0	25.0	31.3	37.5	50.0	50.0	50.0	50.0	37.5	37.5	37.5	25.0
H06	66.7	55.6	66.7	44.4	77.8	44.4	55.6	55.6	44.4	44.4	44.4	33.3
H07	22.2	77.8	55.6	55.6	22.2	55.6	44.4	22.2	27.8	55.6	77.8	55.6
H08	77.8	44.4	33.3	55.6	33.3	55.6	77.8	55.6	55.6	38.9	66.7	55.6
H09	55.6	61.1	77.8	33.3	33.3	33.3	33.3	22.2	66.7	22.2	22.2	33.3
H10	33.3	22.2	22.2	44.4	22.2	44.4	33.3	66.7	44.4	55.6	66.7	44.4
H11	55.6	77.8	61.1	55.6	66.7	55.6	66.7	77.8	66.7	77.8	77.8	55.6
H12	44.4	66.7	50.0	55.6	88.9	55.6	50.0	44.4	66.7	33.3	22.2	44.4
H13	44.4	33.3	33.3	44.4	11.1	22.2	44.4	33.3	11.1	33.3	33.3	44.4
H14	22.2	44.4	44.4									

一致指数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
S63	57.1	78.6	78.6	100.0	85.7	85.7	78.6	85.7	64.3	64.3	71.4	85.7
H01	85.7	85.7	57.1	64.3	71.4	57.1	28.6	28.6	71.4	21.4	42.9	42.9
H02	35.7	28.6	42.9	64.3	71.4	71.4	57.1	71.4	42.9	64.3	85.7	85.7
H03	85.7	57.1	35.7	42.9	28.6	28.6	71.4	42.9	28.6	35.7	42.9	35.7
H04	14.3	14.3	28.6	28.6	28.6	42.9	42.9	28.6	42.9	28.6	42.9	0.0
H05	57.1	57.1	57.1	28.6	57.1	57.1	28.6	42.9	42.9	28.6	28.6	14.3
H06	33.3	33.3	33.3	44.4	77.8	66.7	88.9	88.9	55.6	66.7	66.7	44.4
H07	55.6	77.8	66.7	55.6	55.6	55.6	44.4	66.7	44.4	44.4	66.7	77.8
H08	50.0	44.4	66.7	55.6	55.6	44.4	33.3	55.6	66.7	44.4	66.7	88.9
H09	88.9	55.6	66.7	44.4	44.4	55.6	66.7	33.3	66.7	44.4	44.4	44.4
H10	33.3	33.3	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	44.4	11.1	55.6	44.4	33.3
H11	44.4	22.2	77.8	66.7	66.7	77.8	77.8	66.7	55.6	88.9	88.9	77.8
H12	55.6	66.7	33.3	66.7	66.7	55.6	66.7	55.6	66.7	55.6	55.6	55.6
H13	22.2	22.2	11.1	44.4	33.3	22.2	22.2	22.2	22.2	33.3	33.3	33.3
H14	33.3	55.6	33.3									

遅行指数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
S63	42.9	42.9	57.1	42.9	28.6	57.1	42.9	71.4	57.1	57.1	42.9	42.9
H01	85.7	85.7	85.7	57.1	85.7	57.1	57.1	28.6	85.7	57.1	57.1	14.3
H02	28.6	57.1	42.9	35.7	42.9	85.7	0.0	42.9	57.1	50.0	28.6	85.7
H03	28.6	50.0	64.3	57.1	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	71.4	14.3
H04	57.1	28.6	28.6	28.6	28.6	57.1	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	28.6
H05	42.9	35.7	28.6	28.6	57.1	14.3	57.1	57.1	57.1	35.7	57.1	35.7
H06	71.4	57.1	71.4	42.9	50.0	42.9	42.9	42.9	64.3	57.1	14.3	42.9
H07	57.1	28.6	42.9	71.4	57.1	28.6	28.6	42.9	42.9	42.9	35.7	57.1
H08	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	71.4	71.4	64.3	100.0	85.7
H09	71.4	57.1	71.4	71.4	85.7	85.7	71.4	50.0	57.1	100.0	42.9	71.4
H10	85.7	57.1	28.6	57.1	28.6	42.9	28.6	42.9	21.4	28.6	35.7	57.1
H11	28.6	14.3	0.0	28.6	28.6	42.9	57.1	71.4	28.6	28.6	28.6	14.3
H12	57.1	71.4	85.7	71.4	85.7	28.6	42.9	42.9	71.4	42.9	85.7	57.1
H13	57.1	57.1	71.4	64.3	57.1	28.6	14.3	28.6	42.9	57.1	42.9	42.9
H14	42.9	14.3	14.3									

6. 個別系列の値

系列名			単位	13年			14年		
				10月	11月	12月	1月	2月	3月
				(比較月)					
先行系列	1. 乗用車新車登録届出台数	季	台	4,245	4,142	4,291	4,445	4,387	4,064
	2. 生産財生産指数	前	%	23.0	30.9	31.3	19.3	5.3	12.1
	3. 新規求人数(常用)	季	人	4,008	3,837	3,936	3,333	3,904	3,626
	4. 所定外労働時間指数	季	-	106.8	93.9	101.3	100.1	80.1	86.7
	5. 入職率(製造業)	季	%	1.39	1.27	0.81	0.58	0.34	1.14
	6. 新設住宅着工戸数	季	戸	1,001	870	997	847	956	861
	7. 建築着工床面積(鉱+商+サ)	季	m ²	23,366	32,084	23,831	14,574	25,120	29,748
	8. 企業倒産負債額	季	100万円	19,712	2,142	1,348	9,880	9,909	2,542
	9. 中小企業景況DI	原	-	56.6	54.7	50.9	58.5	52.8	50.9
一致系列	1. 大型小売店販売額(実質)	季	100万円	16,109	16,075	16,138	16,695	15,887	15,545
	2. 鉱工業生産指数	季	-	80.9	74.7	82.4	73.2	80.1	73.6
	3. 電気機械生産指数	季	-	47.1	47.3	54.3	48.8	48.4	48.6
	4. 大口電力使用量	季	1000kw	194,655	191,669	192,266	188,889	192,117	190,306
	5. 有効求人数(常用)	季	人	8,931	8,785	8,575	8,222	8,456	8,107
	6. 雇用保険基本手当初回受給者数	季	人	3,213	3,101	3,559	4,116	3,306	2,735
	7. 海上出入貨物量(八戸港)	季	1000t	2,656	2,730	2,514	2,568	2,737	2,530
	8. 東北自動車道IC利用台数	季	100台	6,996	7,178	6,961	7,318	7,122	6,870
	9. 日銀券発行高	前	%	15.0	17.9	12.7	15.8	3.0	53.6
遅行系列	1. 勤労者世帯家計消費支出(実質)	季	円	362,366	316,185	287,885	287,332	293,928	335,296
	2. 常用雇用指数(製造業)	前	%	9.2	10.3	11.5	12.5	15.3	13.0
	3. 1人平均月間現金給与総額	前	%	2.5	5.3	1.8	0.9	4.4	5.1
	4. 単位労働コスト(製造業)	前	%	3.9	6.0	0.8	5.4	25.6	7.2
	5. 信用保証申込金額	前	%	6.6	24.7	33.4	29.9	31.2	45.0
	6. 輸入通関実績(八戸港)	季	100万円	8,532	6,674	6,830	17,488	5,338	7,183
	7. 消費者物価指数	前	%	0.7	0.7	1.8	0.9	1.5	1.0

季 = センサス局法 X - 1 2 - A R I M A による季節調整値

前 = 前年同月比

原 = 原データ

季節調整値と前年同月比は、統計情報課において計算したものです。
従って、他の報告書等で公表された数字とは異なりますので、ご注意ください。

(参考1) 景気動向指数について

青森県景気動向指数について

(沿革)

昭和56～57年度に開発(昭和35年まで遡及)

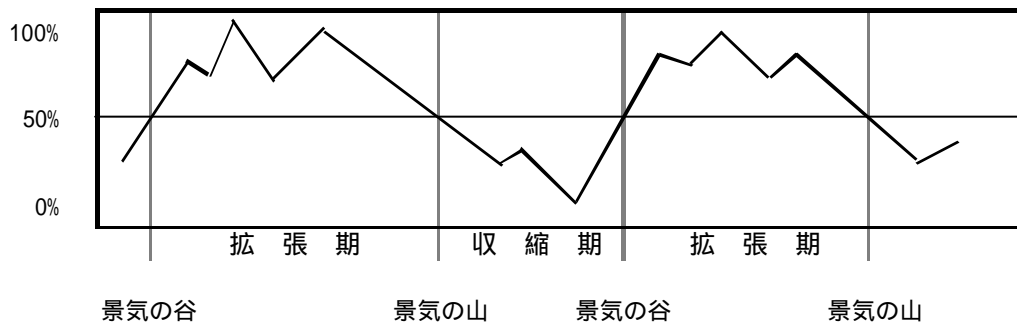
(目的)

1. 景気の転換点を見いだす手がかりとする。
2. 景気の局面を、客観的、継続的に判断するとともに、景気の先行きを判断する手がかりとする。
3. 地域固有の変動パターンや、全国とのリード・ラグを明らかにする。

景気動向指数(DI)の見方

1. DIは、0から100%の間で変動する。
2. DIが、50%ラインを上回っている期間が景気の拡張期(好況)であり、50%ラインを下回っている期間が景気の収縮期(不況)である。
3. DIが、50%ラインを上から下に切る時点が「景気の山」(拡張期から収縮期への転換点)、50%ラインを下から上に切る時点が「景気の谷」(収縮期から拡張期への転換点)である。

DIの動きと景気の局面



全国と青森県の景気基準日付

全 国			青 森 県		
谷	山	谷	谷	山	谷
	36年12月	37年10月		37年 6月	37年12月
37年10月	39年10月	40年10月	37年12月	39年 2月	40年 1月
40年10月	45年 7月	46年12月	40年 1月	44年 1月	44年 9月
46年12月	48年11月	50年 3月	44年 9月	46年 2月	47年 4月
50年 3月	52年 1月	52年10月	47年 4月	48年 9月	50年 3月
52年10月	55年 2月	58年 2月	50年 3月	51年12月	53年 3月
58年 2月	60年 6月	61年11月	53年 3月	55年 1月	57年 3月
61年11月	H3年 2月	H5年10月	57年 3月	60年 4月	62年 3月
H5年10月	H9年 5月	H11年1月	62年 3月	H3年 3月	H6年 1月
H11年1月	(H12年10月)		H6年 1月	H9年 3月	H11年2月
			H11年2月		

()内は暫定

(参考2) 青森県景気動向指数採用系列の概要

系列名		作成機関	資料出所	備考
先行系列	1. 乗用車新車登録届出台数	季 青森県自動車会議所	「自動車登録状況新車月報」	普通 + 小型 + 軽乗用
	2. 生産財生産指数	前 県統計情報課	「鉱工業生産指数」	1995年=100
	3. 新規求人数	季 青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	常用分
	4. 所定外労働時間指数	季 県統計情報課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、全産業 2000年=100
	5. 入職率	季 県統計情報課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、製造業
	6. 新設住宅着工戸数	季 国土交通省	「建設統計月報」	
	7. 建築着工床面積	季 国土交通省	「建設統計月報」	鉱工業用 + 商業用 + サービス業用
	8. 企業倒産負債額	季 東京商工リサーチ青森・八戸支店	「青森県企業倒産状況」	負債総額1千万円以上 逆サイクル
	9. 中小企業景況D I	原 青森県中小企業団体中央会	「中小企業あおもり」	前年同月と比べた景況感
一致系列	1. 大型小売店販売額	季 東北経済産業局	「東北地域大型小売店販売額動向」	消費者物価指数により実質化
	2. 鉱工業生産指数	季 県統計情報課	「鉱工業生産指数」	1995年=100
	3. 電気機械生産指数	季 県統計情報課	「鉱工業生産指数」	1995年=100
	4. 大口電力使用量	季 東北電力青森支店	「電力需要月報」	
	5. 有効求人数	季 青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	常用分
	6. 雇用保険基本手当初回受給者数	季 青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	逆サイクル
	7. 海上出入貨物量(八戸港)	季 県港湾空港課		一般貨物 + フェリーによる車両
	8. 東北自動車道I C利用台数	季 日本道路公団		青森県内7インターチェンジにおける出入車両数の合計
	9. 日銀券月中発行高	前 日本銀行青森支店	「県内金融経済概況」	
遅行系列	1. 勤労者世帯家計消費支出	季 総務省	「家計調査」	青森市消費者物価指数により実質化
	2. 常用雇用指数	前 県統計情報課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、製造業 2000年 = 100
	3. 1人平均月間現金給与総額	前 県統計情報課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、全産業
	4. 単位労働コスト(製造業)	前 県統計情報課	「鉱工業生産指数」 「毎月勤労統計調査」	常用雇用指数 × 定期給与指数 / 製造工業生産指数
	5. 信用保証申込金額	前 青森県信用保証協会	「保証月報」	
	6. 輸入通関実績(八戸港)	季 八戸税関支署	「八戸税関支署貿易概況」	
	7. 消費者物価指数	前 県統計情報課	「消費者物価指数」	帰属家賃除く総合 2000年=100

季 = センサス局法 X - 1 2 - A R I M A による季節調整値、前 = 前年同月比、原 = 原データ

(参考3) 青森県景気動向指数採用系列の変遷

系 列 名		採 用 期 間		
先 行 系 列	乗用車新車登録台数	S42.9	H5.12	
	乗用車新車登録届出台数		H6.1	
	百貨店販売額(売場面積当・実質)	S46.6	S56.12	
	勤労者世帯家計消費支出(実質)	S38.8	S56.12	
	窯業・土石製品生産指数	S37.9	S56.12	
	パルプ・紙生産指数		S57.1 H5.12	
	生産財生産指数			
	新規求人数(常用)	S37.9	S56.12 H6.1	
	新規求人倍率(常用)		S57.1 H5.12	
	所定外労働時間指数(全産業)		H6.1	
	所定外労働時間数(製造業)	S50.1-S56.12		
	入職率(製造業)	S35.6	S49.12 H6.1	
	新設住宅着工戸数		S57.1	
	建築着工床面積(鉱工業+商業+サービス業用)		H6.1	
	企業倒産件数		S57.1 H5.12	
	企業倒産負債額		H6.1	
	中小企業景況DI		H6.1	
	取引停止処分(枚数)	S35.9	S56.12	
	一 致 系 列	日経商品指数		S57.1 H5.12
		株式売高		S57.1 H5.12
信金・労金貸出残高		S36.6	H5.12	
不渡手形発生率(金額)		S35.6	S56.12	
大型小売店販売額(実質)			H6.1	
百貨店販売額(実質)			S57.1 H5.12	
鉱工業生産指数		S35.6		
電気機械生産指数			S57.1	
木材・木製品生産指数		S35.6	S56.12	
食料品工業生産指数		S35.6	S56.12	
大口電力使用量		S35.6		
新規求人倍率		S37.9	S50.12	
有効求人数(常用)			S51.1	
雇用保険基本手当当初回受給者数			H6.1	
所定外労働時間数(製造業)		S35.6	S49.12	
入職率(製造業)			S50.1 H5.12	
新設住宅着工床面積		S35.6	S56.12	
建築着工床面積(鉱工業用)		S35.6	H5.12	
海上出入貨物量(八戸港)			H6.1	
東北自動車道IC利用台数			H6.1	
日銀券月中発行高		H6.1		
遅 行 系 列	勤労者世帯家計消費支出(実質)		H6.1	
	有効求人数(常用)	S37.9	S50.12	
	雇用保険受給者実人員		S57.1 H5.12	
	1人平均月間現金給与総額(全産業)		H6.1	
	総実労働時間数(製造業)		S57.1 H5.12	
	常用雇用指数(製造業)	S35.6	S49.12 S57.1	
	離職率(製造業)		S50.1-S56.12	
	法人事業税調定額	S41.9	S56.12	
	人件費比率(製造業)	S35.6	S56.12	
	単位労働コスト(製造業)		S57.1	
	営業倉庫保管残高	S35.6	S56.12	
	信用保証申込金額		S57.1	
	輸入通関実績(八戸港)		S57.1	
	消費者物価指数	S39.8		
預貸率	S35.6	S56.12		

印のついた系列は、現時点で採用している系列。

(参考4) 季節調整法 X-12-ARIMAによるARIMAモデル等一覧

データ名	期間	ARIMAモデル	回帰変数	異常値
乗用車新車登録届出台数	1981-2001	(011)(111)	td1nolpyear	なし
新規求人数(常用)	1981-2001	(210)(012)	tdnolpyear	なし
所定外労働時間指数	1984-2001	(012)(011)	td1nolpyear	1988.03
入職率(製造業)	1981-2001	(212)(011)	指定なし	1994.01、2000.10
新設住宅着工戸数	1981-2001	(111)(011)	指定なし	1981.02、1982.01
建築着工床面積(鉱+商+サ)	1987-2001	(011)(011)	指定なし	1994.03、1997.02
企業倒産負債額	1981-2001	(011)(011)	指定なし	なし
大型小売店販売額	1981-2001	(011)(011)	td1nolpyear、holiday2	1989.03、1991.02、1997.03
大口電力使用量	1981-2001	(110)(111)	lpyear	なし
有効求人数(常用)	1981-2001	(110)(111)	tdnolpyear	1983.02
雇用保険基本手当初回受給者数	1981-2001	(212)(111)	td	2001.06
海上出入貨物量(八戸港)	1989-2001	(012)(011)	指定なし	なし
東北自動車道IC利用台数	1990-2001	(011)(011)	lpyear	なし
勤労者世帯家計消費支出	1981-2001	(112)(011)	指定なし	なし
輸入通関実績(八戸港)	1981-2001	(212)(012)	指定なし	2001.02
消費者物価指数(帰属家賃除く)	1981-2001	(212)(011)	tdnolpyear、holiday1	なし

鉱工業生産指数と電気機械生産指数は、公表された季節調整値をそのまま使用しています。

<スเปックファイル例> 有効求人数(常用)

```
series{
  title="030202"
  start=1981.1
  file="d:\¥x12a¥dat¥030202.dat"
  span=(1981.1,)
  name="yu-kyujin"
}
transform{function=log}
arima{model=(1 1 0)(1 1 1)}
regression{variables=(tdnolpyear
  ao1983.feb)
}
estimate{ }
forecast{maxlead=60}
x11{appendfcst=yes
  save=(d11 d16)
}
history{estimates=sadjchng}
```

<ARIMAモデルの決定方法及び回帰変数の組合せ等に関する参考文献>

- 奥本佳伸(経済企画庁経済研究所編)『季節調整法の比較研究』(大蔵省印刷局 2000.06)
- 奥本佳伸『季節調整法センサス局法X-12-ARIMAの適用における日本型曜日調整の有効性』(千葉大学経済研究 第16巻第1号 2001.06)

ふれあい・感動・未来

青森県
文化観光立県
宣言

問い合わせ先

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1

青森県企画振興部統計情報課

TEL 017-734-9166(直通)

E-mail tokei@ags.pref.aomori.jp